

平成26年度社会福祉法人宝塚すみれ福社会事業報告書

1 保育園の運営

- ◇丸橋保育園 所在地 宝塚市山本丸橋 4-22-2
定員90名(0才6名、1.2才22名、3才20名、4.5才各21名)
但し、待機児解消のため定員外若干増員
※年間 1,202名(前年77名減) 月平均約 100名
- ◇丸橋保育園分園 所在地 宝塚市山本野里 2-9-11
定員30名(0才8名、1.2才22名)
※年間 373名(前年12名増) 月平均約 31名
- ◇伊子志保育園 所在地 宝塚市伊子志 2-15-31
定員120名(0才9名、1.2才36名、3.4.5才各25名)
但し、待機児解消のため定員外若干名増員
※年間 1,673名(前年14名増) 月平均約 139名

2 重点事項

- ・待機児解消のため緊急枠を設け、月最大、伊子志は140名、丸橋は101名、分園は32名まで受け入れた。ただし、丸橋の4歳児クラスは定員を満たさなかった。
- ・乳児(0.1.2才)の保育担当制、就学に向けての幼児保育の充実、幼児(3.4.5才)の異年齢保育の内容充実(伊子志)を図る。

3 保育活動

- ・保育時間
午前7時から午後7時(カリキュラムによる保育は原則として午前9時から午後5時)。
但し、保護者の勤務時間プラス通勤に要する時間によって、個々の預かり時間は異なる。
午後6時15分以降は延長保育料を徴収した。
(丸橋保育園 167,070円 伊子志保育園 194,900円)
- ・保育内容
保育指針に基づいた各カリキュラムを作成し保育を行った。
給食に関しては、宝塚市児童福祉課の栄養士作成献立を基本に、園独自のものも、栄養士、調理師によって作成し取り入れていった。

4 職員の状況 別紙

5 職員研修

- ・乳児、障害児、わらべうた、体育遊び、子育て相談、主任保育士、調理員研修、施設長研修、法人研修等
- ・障害児ケースワックス(精神科医平井先生・発達相談員平本先生)来園相談実施。
- ・市内保育所公開保育参加
- ・わらべうた研修：年6回(5.6.7.9.10.11月)第1水曜日に会場(伊子志保育園)を提供し、有志は参加。
- ・職員会議 毎月1回以上 乳児担当幼児担当クラス毎担当者会議年数回。
- ・給食会議 毎月1回(食育、給食について)
- ・両園合同研修 乳児、幼児別課題を設けての勉強会年10回実施(両園もしくは園ごと))
- ・公開保育(コ研小林先生指導)実施後研修
- ・その他各自、乳児幼児自主研修

6 職員健康診断

全職員、近隣医療機関による総合検診実施。結果通知。

7 施設の整備

丸 橋－排煙窓設置、テラス改修、分園庇下床張替、監視カメラ交換 など。

伊子志－ロク^ハハウスフレッシュ、砂場改修、園庭舗装陥没補修、シャワー^ハン設置、職員室壁面収納設置、園庭道具入れ設置、屋外排水管修理、カーテン修繕、あか組トイレ改修、もも組トイレ改修、ホール防災カーテン取替、食器洗浄機購入 など。

8 安全対策

月1回の避難訓練及び安全点検(建物、遊具、園庭整備)、救急救命法の研修、危機管理防災の研修、乳幼児突然死症候群の勉強、食中毒への対応の研修、害虫駆除(業者委託)。

9 地域福祉及び、実習生等の受入

- ・トライやるウィーク受入(丸橋) 長尾中学 4名 南ひばりガ丘中学 2名
(伊子志)宝梅中学 3名 第一中学 3名 光が丘中学 3名
- ・実習生受入 (丸橋) 関西保育福祉専門学校 2名 甲南女子大 1名
甲子園短大 1名 関西学院大学 1名
園田学園女子大 2名
(伊子志)聖和短大 2名 関西学院大学 3名

・公開保育及び見学

公開保育(コ研小林先生指導)実施：丸橋 ー乳児(0、1、2才児)
伊子志ー乳児(0、1、2才児)

・地域との関わり

丸 橋－丸橋幼稚園との行事交流(サマ^ハパーティ・運動会・お店屋さんごっこ・生活発表会)
丸橋小学校との行事交流(ふるさと祭り・昔遊び)

伊子志－地域との行事交流(夕涼み会・昔遊び・運動会)、末広コミュニティの行事に参加
老人保健施設エアヴィラとの交流

・子育て支援

丸 橋－子育て支援事業(宝塚市地活)：年間22回予定表により月2～3回実施
伊子志－子育て支援事業(宝塚市地活)：月2～3回水曜日又は金曜日実施

・地域児童に対する園庭解放、保護者への育児相談は随時行っている。

10 理事会

第1回理事会(26- 5-23) 25年度事業報告及び決算報告

第2回理事会(26-12-16) 役員選任、理事長互選、新会計基準への移行について

第3回理事会(27- 3-24) 26年度補正予算、27年度事業計画及び収支予算

11 事業資金

丸橋及び伊子志の通常経費は、運営費収入と市補助金等で賄えた。